

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<26週> 手足口病・ヘルパンギーナ - 定点当たり報告数は大きく増加した / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-5

<手足口病> 定点当たり報告数は例年並みに推移してきたが第25週から急峻な立ち上がりをみせている
<咽頭結膜熱> 定点当たり報告数は例年より多い状態で推移しており、第26週でも更に増加した



病原体情報
P.6

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病患者から分離されているウイルス / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス



速報
P.7-8

重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数 / 手足口病患者からのエンテロウイルス71型の分離 - 香川県



海外感染症情報
P.9-11

アルジェリアでのペスト流行 / リベリアでのコレラ流行 / 重症急性呼吸器症候群(SARS) - 更新情報



感染症の話
P.12-15

<ハンタウイルス肺症候群>
ネズミを自然宿主とするハンタウイルス
による人獣共通感染症である



読者のコーナー
P.16



グラフ総覧(26週)
P.17-23



26週のデータ
P.24-32



発生動向総覧

第26週コメント 7月4日集計分

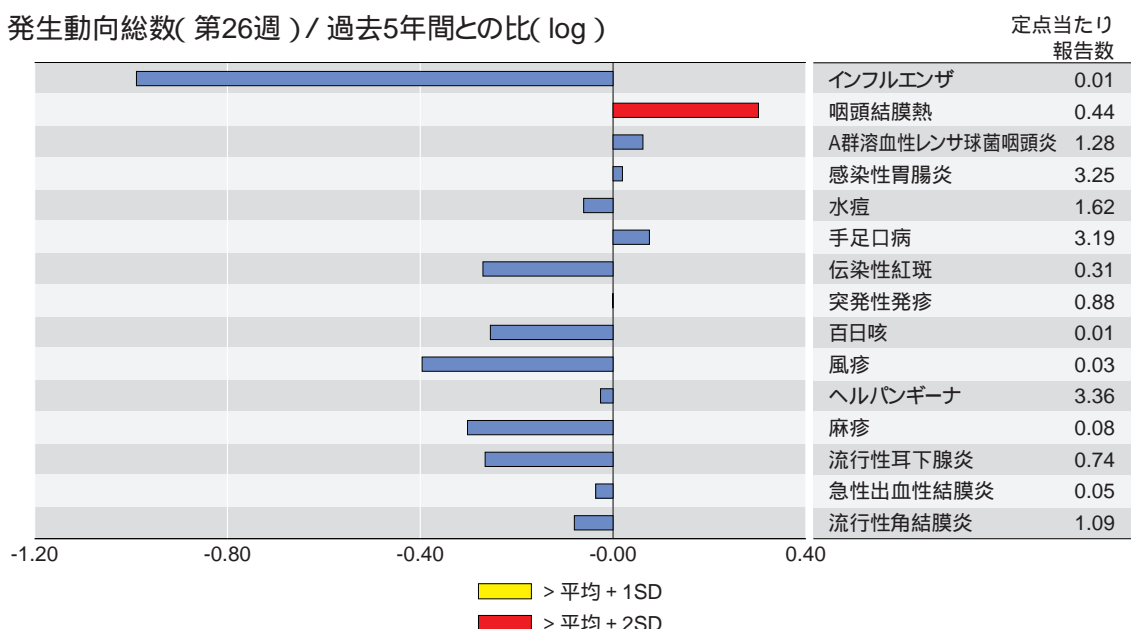
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢3例(推定感染地域: 国内1例、インド1例、不明1例)
腸チフス2例(推定感染地域: フィリピン、ネパール各1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症62例(うち有症者44例); 最多報告は東京都、岡山県(ともに7例)
血清型・毒素型はO157 VT1・VT2(24例)、O157 VT2(17例)、O26 VT1(9例)、その他(12例)
 - 4類感染症: アメーバ赤痢7例(推定感染地域: 国内4例、韓国1例、不明2例)
クリプトスポリジウム症1例(推定感染地域: ナイジェリア)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
ツツガムシ病4例、日本紅斑熱1例(高知県)、梅毒4例(いずれも早期顕症)、破傷風1例(70歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(菌検出検体: 胆汁、遺伝子型: VanC)
マラリア1例(熱帯熱)、推定感染地域: ナイジェリア)、レジオネラ症1例
急性ウイルス性肝炎9例 A型4例(推定感染地域: 国内3例、インド1例)
 B型3例(推定感染経路: いずれも性的接触)
 C型1例(推定感染経路: 不明)
 E型1例(推定感染地域: アメリカ/ベトナム)
- 後天性免疫不全症候群4例(AIDS 1例、無症候3例)
推定感染経路: 性的接触4例(異性間1例、同性間3例)
推定感染地域: 国内4例
(補)他に、梅毒1例(無症候)の報告があったが、報告基準を満たさず削除予定。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、また過去10年間と比較して本年16週以降最高の値で推移している。都道府県別では大分県(2.4)、富山県(2.1)、福井県(1.2)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少し、0.18であるが、過去4年間と比較してかなり多く、都道府県別では岡山県(1.0)、青森県(0.8)、宮城県(0.8)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少し、都道府県別では宮崎県(4.1)、富山県(2.7)、山形県(2.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は大きく増加し、都道府県別では広島県(18.5)が非常に多く、次いで静岡県(8.1)、島根県(7.1)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少し、都道府県別では北海道(1.1)、静岡県(0.8)、三重県(0.8)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は大きく増加し、都道府県別では三重県(8.8)、山口県(8.8)、鳥取県(8.7)が多い。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では福島県(0.4)、栃木県(0.3)が依然として多い。急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は微増して0.05で、都道府県別では宮崎県(4.0)、長崎県(0.9)が多い。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は微増して1.09で、都道府県別では高知県(3.0)、宮崎県(2.5)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は微増して0.11で、都道府県別では広島県(0.7)、和歌山県(0.6)が多い。

発生動向総数(第26週) / 過去5年間との比(log)

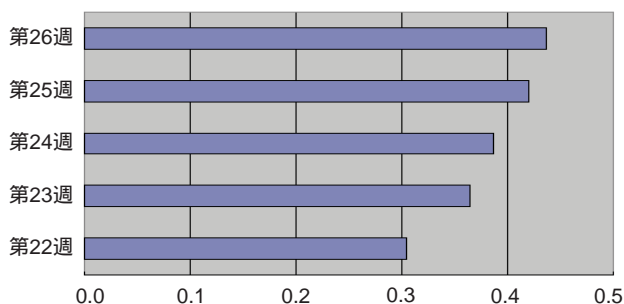


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

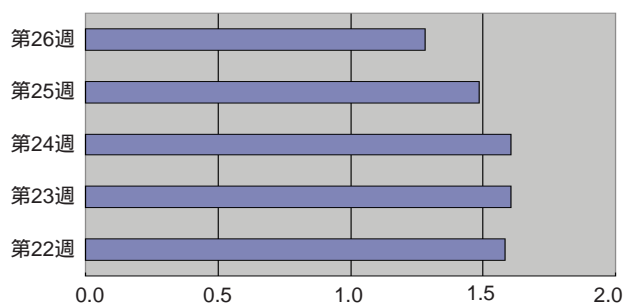
最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週に比べて増加している。咽頭結膜熱、無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は微増している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少している。

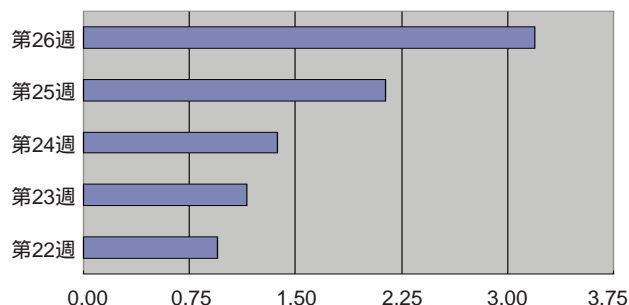
咽頭結膜熱



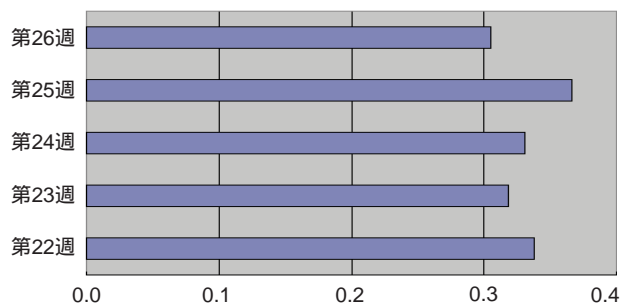
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



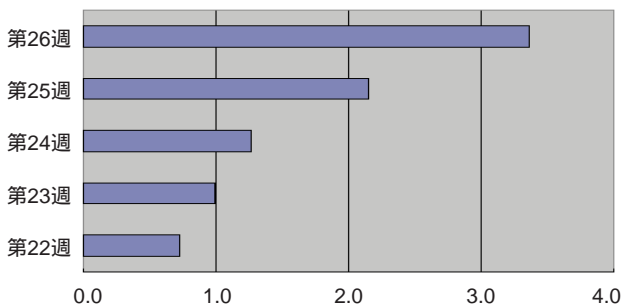
手足口病



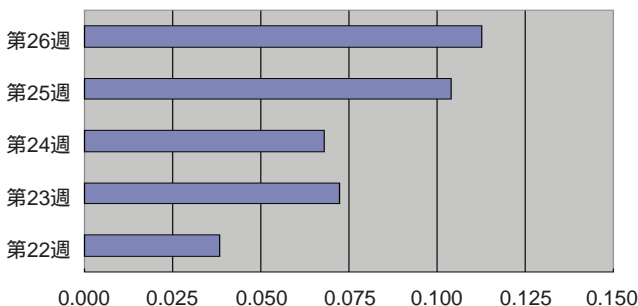
伝染性紅斑



ヘルパンギーナ



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

手足口病

手足口病は、口腔粘膜や手、足に現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られる。コクサッキーA16型(CA16)、CA10、エンテロウイルス71型(EV71)などのエンテロウイルスによりおこり、一般的に予後は良好な疾患である。感染は主として、咽頭から排泄されたウイルスの飛沫感染でおこるが、便中に排泄されたウイルスからの経口感染や水疱内容物からの感染などもありうる。便中へのウイルスの排泄は長期間にわたり、症状が消失した患者も2～4週間にわたり感染源になりうる。

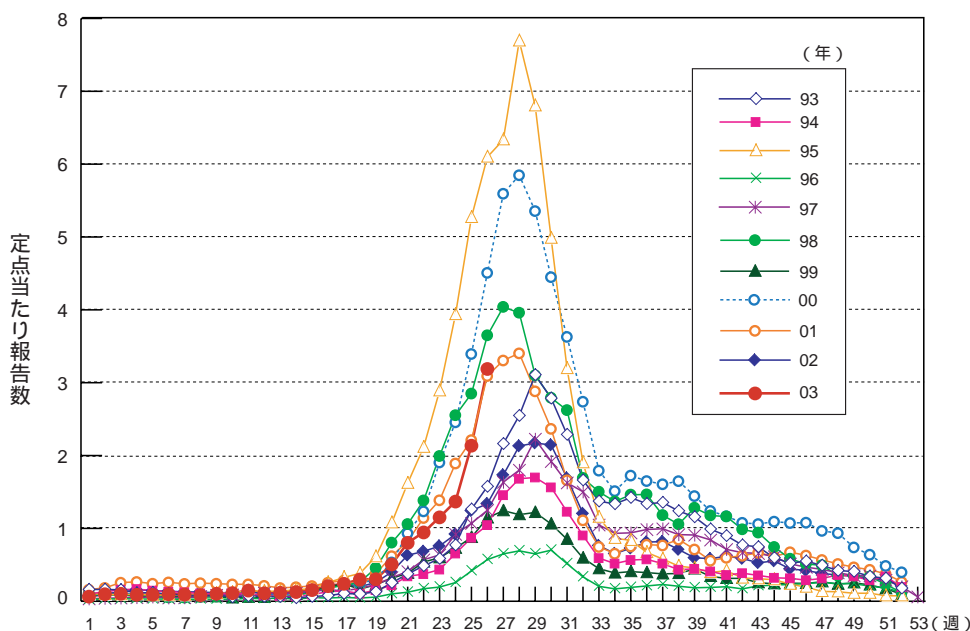
例年、第27～30週にかけてピークを迎える。1985年、1990年、1995年、2000年と5年おきに比較的大きな流行がみられており、今年は今まで、定点当たり報告数は例年並みに推移してきたが、第25週から急峻な立ち上がりを見せている(図参照)。

地研からのウイルス検出報告では、2001年、2002年にはCA16が大部分を占めていたが、今季はこれまでEV71が多く分離されている(病原体情報参照)。

近年、マレーシア、台湾などの東南アジア地域でEV71感染による小児の感染症において、中枢神経系の重篤な合併症が起きる例が報告され、国内でも関西地区でEV71と関連した脳炎による死亡例の報告もある。

今年EV71が多く分離されていること、ここ数週間が例年流行のピークであることから、重篤例の発生、及び流行状況についての監視が必要である。

図. 過去10年間の手足口病の週別定点当たり報告数



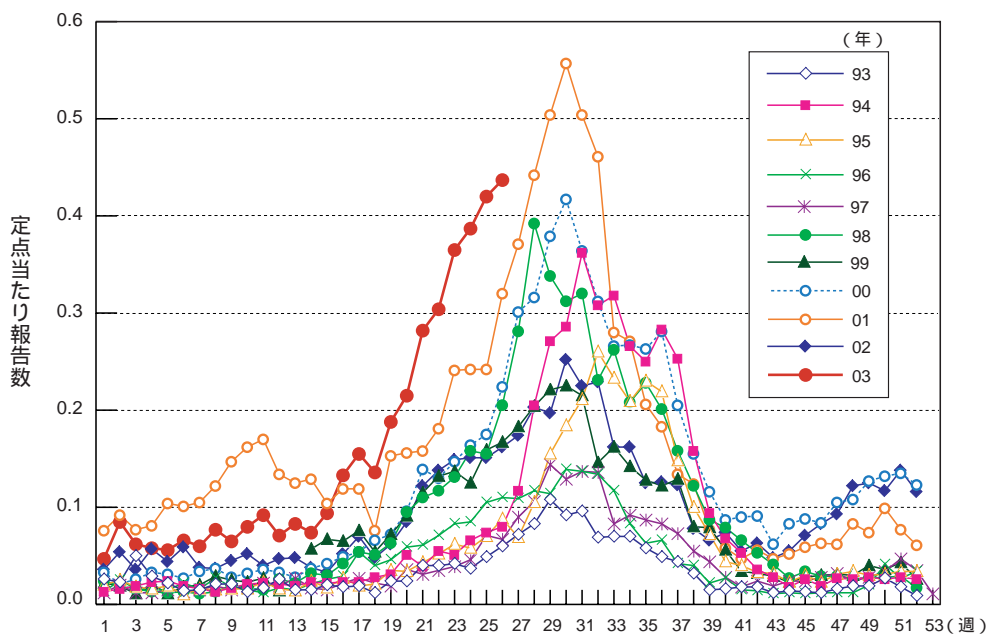
咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年より多い状態で推移している。第26週でも更に増加し、過去10年間のうちでも最大となっている。以前から多かった大分県では先週は減少したものの、第26週ではまた上昇に転じて2.4となった。富山県(2.1)、福井県(1.2)、三重県(1.1)、福岡県(1.1)でも、定点当たり報告数が1.0を超えている。第26週においても、報告された症例の約8割が5歳以下の小児であった。

本年、現在までに咽頭結膜熱患者から分離されている病原体は、アデノウイルス3型、あるいは2型が主である。また、数は少ないものの7型も分離されている。

本疾患は、本格的な夏に入ると報告数がさらに増加すると考えられる。プールを介しての流行もあるので、水泳前後のシャワーやプールの水の消毒の徹底なども大切である。

図. 過去10年間の咽頭結膜熱の週別定点当たり報告数





病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年7月4日現在報告分)

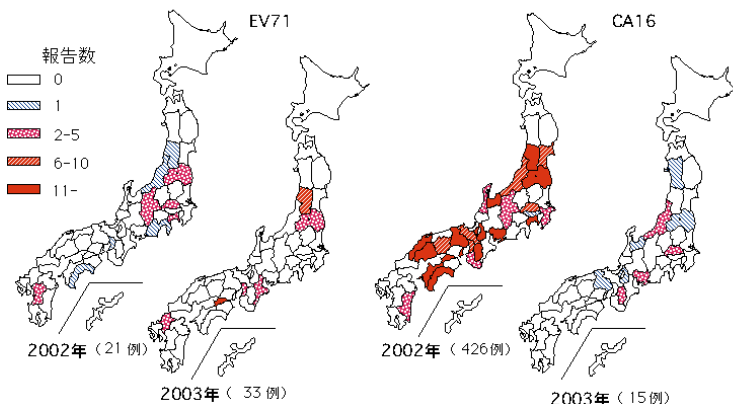
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は143件で、うちO157が97件、O26が31件、その他の血清型が15件報告されている。最近では第23～24週に、秋田県の小学校における集団発生事例からO26が9件(すべてVT1)報告されている。

手足口病患者から分離されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が33件、コクサッキーA16型ウイルス(CA16)が15件、その他にCA2が2件(三重県2)、CA5が1件(島根県)、CA6が1件(京都市)、CB2が1件(浜松市)報告されている。昨年(2002年)にはCA16が426件と多く、EV71は21件と少なかったが、本年はEV71がCA16を上回っており、昨年の年間報告数を既に超えている。地域別では、EV71は香川県から11件(本号速報記事参照)、次いで山形県10、福島県3、三重県3、北九州市3、大阪府、福岡市各1、CA16は埼玉県3、愛知県3、新潟県2、奈良県2、秋田県、福島県、富山県、滋賀県、兵庫県各1件が報告されている。

都道府県別手足口病患者からの分離報告状況 (EV71、CA16)、2002&2003年
(病原微生物検出情報: 2003年7月4日現在報告数)



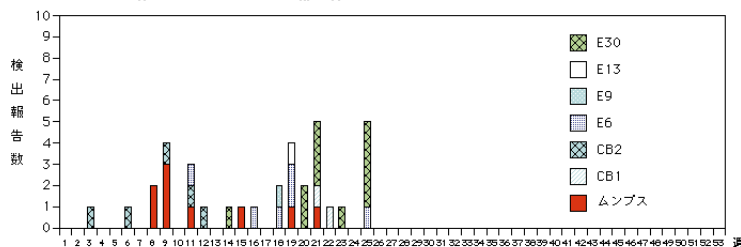
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。



無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エコーウイルス(E)30型が11件(大阪府4、大阪市2、浜松市2、京都市、奈良県、神戸市各1)、ムンプスウイルスが9件(広島県3、島根県2、千葉市、愛知県、大阪府、奈良県各1)、E6が6件(新潟県3、大阪府2、神戸市1)、CB2が5件(神戸市、岡山県、広島市、北九州市、佐賀県各1)、CB1が2件(滋賀県、熊本県各1)、E9が1件(香川県)、E13が1件(香川県)、CB4が1件(奈良県)報告されている。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2003年 (病原微生物検出情報: 2003年7月4日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。





重症急性呼吸器症候群 (SARS) の「可能性例」国別累積報告数

(平成14年11月1日¹～平成15年7月10日)

国名	累積症例数 ²	WHOによる前回の更新以降の新規症例数 ²	死亡者数	回復者数 ³	「可能性例」の最終報告日	現在の累積症例数報告日
オーストラリア	5	0	0	5	5月12日	6月27日
ブラジル	1	0	0	1	6月9日	7月1日
カナダ ⁴	250	1	38	194	7月9日	7月9日
中国 ⁵	5327	0	348	4941	6月25日	7月10日
香港(中国特別行政区) ⁶	1755	0	298	1431	6月11日	7月10日
マカオ(中国特別行政区)	1	0	0	1	5月21日	7月10日
台湾(中国)	671	0	84	506	6月19日	7月10日
コロンビア	1	0	0	1	5月5日	5月5日
フィンランド	1	0	0	1	5月7日	5月20日
フランス	7	0	0	6	5月9日	5月22日
ドイツ	10	0	0	9	6月4日	6月23日
インド	3	0	0	3	5月13日	5月14日
インドネシア	2	0	0	2	4月23日	6月19日
イタリア	4	0	0	4	4月29日	7月8日
クウェート	1	0	0	1	4月9日	4月20日
マレーシア	5	0	2	3	5月20日	7月4日
モンゴル	9	0	0	9	5月6日	6月2日
ニュージーランド	1	0	0	1	4月30日	6月25日
フィリピン	14	0	2	12	5月15日	7月9日
アイルランド	1	0	0	1	3月21日	6月12日
韓国	3	0	0	3	5月14日	7月2日
ルーマニア	1	0	0	1	3月27日	4月22日
ロシア	1	0	0	0	5月31日	5月31日
シンガポール	206	0	32	172	5月18日	7月7日
南アフリカ	1	0	1	0	4月9日	5月3日
スペイン	1	0	0	1	4月2日	6月5日
スウェーデン	3	0	0	3	4月18日	5月13日
スイス	1	0	0	1	3月17日	5月16日
タイ	9	0	2	7	6月7日	7月1日
英国	4	0	0	4	4月29日	6月30日
米国 ⁷	75	0	0	67	6月23日	7月8日
ベトナム	63	0	5	58	4月14日	6月7日
計	8,437	1	812	7,449		

[注]・累積症例数は死亡数を含む。

・重症急性呼吸器症候群 (SARS) は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。従って、以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

- 1 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含むために、サーベイランス期間の開始日を2002年11月1日に変更した。
- 2 「累積症例数」の減少と、「前回と今回のWHOへの新規報告症例数」のあいだの矛盾は、(同期間に別な病因が判明し)取り下げられた症例数があることによって生じている。
- 3 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。
- 4 カナダにおける直近のSARSの「可能性例」の発生は6月12日で、最後の「可能性例」の隔離も同日に行われた。
- 5 中国における直近のSARSの「可能性例」の発生は6月3日で、最後の「可能性例」の隔離も同日に行われた。
- 6 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。
- 7 2003年6月26日以降は「回復者数」に、「可能性例」でまったく入院しなかった例と、入院しその後退院したと報告された例のすべてを含む。以前の報告は、入院しその後退院した症例だけが含まれていた。

(WHOホームページより)

手足口病患者からのエンテロウイルス71型の分離 - 香川県

今シーズン第21～25週にかけて、定点医療機関で手足口病と診断された患者の咽頭ぬぐい液11検体から、エンテロウイルス71型(EV71)が11株分離同定された。

患者を年齢別にみると、2歳5名、3歳1名、4歳4名、5歳1名で、5歳以下に集中していた。性別では、男児7名、女児4名であった。

また臨床症状では、水疱性口内炎、水疱性丘疹が中心で、発熱(37.1 ~ 40.0)は4名にみられたが、髄膜炎など重症化した症例はなかった。定点医療機関の担当医のコメントでは比較的軽症の患者が多く、現在のところ髄膜炎・脳炎を併発した患者はないが、患者数は増加傾向にあり、今後とも注目していく必要がある。

ウイルス分離ではVero細胞で高い感受性を示し、4～5日でCPEを観察することができ、中和試験では、島根県保健環境科学研究所より分与されたEV71抗血清を用い、容易に中和された。

本県のEV71による手足口病の流行は、最近では1997年、2000年にみられ、定点当たりの患者数から流行を比較すると、1997年は第31～50週頃まで患者発生が報告され(年間定点当たり患者数27.2人) 全国平均より遅く、流行期にずれがみられた。2000年は第25～35週に流行し(年間定点当たり患者数61.5人) 全国状況とほぼ一致した流行であった。

今シーズンの手足口病の流行では第21週からウイルスが分離され始め、2000年シーズン同様の、夏季を中心とした流行パターンをとるものと思われる。また、県下の定点当たりの患者数においても、第21週0.7人、第22週0.7人、第23週1.1人、第24週1.5人、第25週3.4人と上昇傾向がみられているので、今後、夏季の流行期にむけて十分な注意が必要と考える。

香川県環境保健研究センター

亀山妙子 三木一男 山西重機

(IASR2003年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アルジェリアでのペスト流行

WHO/CSR 2003年7月3日

7月2日現在、アルジェリア保健省は累計で10名の患者を報告した。このうち8名は検査により確認された(既報参照)。8名は腺ペストであり、2名は敗血症ペストで、そのうち1名は死亡した。さらに8名が調査中である。

WHOとパスツール研究所から派遣されたチームが保健省とともに、疫学調査とベクターコントロールを実施している。

リベリアでのコレラ流行

WHO/CSR 2003年7月3日

6月6日から29日の間に、586名のコレラ患者がMonroviaの保健施設より報告された。流行は継続している。6月23～29日の入院患者の50%は、Bushrod島とMonrovia中央部からの患者であった。治安上の理由により、正確な患者数と死亡者数は入手困難である。

WHOは、Monroviaおよびその周辺部での塩素消毒などの征圧対策を支援している。また、MERLINや国境なき医師団(フランス、ベルギー)とともに、Monroviaで活動を行っている。

重症急性呼吸器症候群(SARS)- 更新情報

WHO/CSR 2003年7月1日 - 更新92

旅行勧告と地域内感染伝播地域の時系列表

予想外の出来事がなければ、世界で最後に残ったトロントと台湾という、二つのSARSの地域内感染伝播地域は、今週の後半にヒト-ヒト感染の連鎖が断たれたと宣言される予定である。これにより、SARSコロナウイルスはもはやヒト社会の中で循環していないと考えられる。

当初からWHOのSARS対応の目的は、この疾患が新たにヒトを宿主とする機会を封じることであった。ヒト-ヒト感染の遮断は、そのための1段階となる。

しかしながら、ウイルスの起源とその季節的流行の可能性についての疑問が残っているため、科学者たちはSARSが消滅したと保証することはできない。これに加え、世界のどこかで、検知できない様な低い程度の伝播が起こっている可能性がある。

WHOの目的に沿って、特定の地域への渡航延期勧告が発令されてきた。SARSが地域内感染伝播がある地域から輸出されたという事実は、SARSがますます国を越えて拡大し、隔離や感染制御対策、接触者追跡調査、検疫などの多大な負担をこらむことになるため、注目を集めた。

以下に、WHOの旅行勧告と地域内感染伝播の状況を示す。

背景

3月12日: WHOは、病院職員の間急速に広がりつつある肺炎の症例に関する、最初の世界的警報を発令した。

3月15日: WHOは最初の緊急旅行勧告を発令した。すべての旅行者が、SARSの主要な症状と徴候に注意をするよう、注意喚起した。この疾患は、航空機による国際航路に沿って拡大しているようであった。

3月24日: 香港の当局者は、ひとつのツアーグループから9例の異型肺炎の症例を報告し、往復の航空機内での感染の可能性が浮上した。その後の調査により、3月15日の香港から北京へのフライトに搭乗したひとりの乗客が、22人の同乗者と2人の客室乗務員へ感染を広げた可能性が

示唆された。

3月25日: WHOは旅行者に対し、警戒を継続するよう強調する一方、いかなる渡航先に対しても渡航制限の必要はないと示した。ほとんどの新規患者は速やかに確認され、直ちに隔離されており、医療施設の様な限られた環境以外では感染伝播の機会は減らされていた。

3月27日: WHOは、地域内での感染連鎖が成立している感染伝播地域から出国する航空機の乗客に対する、出国時スクリーニングの実施を勧告した。これ以後、機内での感染が疑われる症例は報告されていなかった。

3月31日: 香港のアモイ・ガーデン集合団地でほぼ同時に発生した集団発生により、環境による感染の可能性が考えられ、これが、SARSが病院から一般社会へ拡大した経路を示唆した。さらに、いくつかの地域で、輸入初発例が広東省か香港への旅行歴と結びついた。これらの出来事が、最初の旅行勧告を出す下地を作った。

旅行勧告(不要不急の渡航延期勧告)

- 4月2日: 香港と広東省に発令
- 4月23日: 中国の北京、山西省とカナダのトロントに発令
- 4月30日: トロントを解除
- 5月8日: 中国の天津、内モンゴル、台湾の台北に発令
- 5月17日: 中国の河北省に発令
- 5月21日: 台湾全土に発令
- 5月23日: 香港と広東省を解除
- 6月13日: 中国の河北省、内モンゴル、山西省、天津を解除
- 6月17日: 台湾を解除
- 6月24日: 北京を解除(全地域解除)

地域内感染伝播地域の推移

- 3月22日: トロント、中国本土の一部、香港、台湾、シンガポール、ベトナム
- 4月11日: 北京を追加
- 4月28日: ベトナムを削除 - 初のSARS流行制圧
- 5月1日: モンゴルを追加
- 5月7日: フィリピンを追加
- 5月9日: モンゴルを削除
- 5月14日: トロントを削除
- 5月20日: フィリピンを削除
- 5月26日: トロントを再び追加
- 5月31日: シンガポールを削除
- 6月13日: 広東、河北、湖北、内モンゴル、吉林、江蘇、陝西、山西、天津を削除
- 6月23日: 香港を削除
- 6月24日: 北京を削除
- 7月1日: トロントと台湾のみ掲載

WHO/CSR 2003年7月2日 - 更新93

トロント

トロントを地域内感染伝播地域から除外

WHOは本日、カナダのトロントを、SARSの地域内感染伝播地域から除外した。最後の「可能性例」は6月12日に確認され、直ちに隔離された。

WHO/CSR 2003年7月5日 - 更新96

台湾

台湾：最後に残った集団発生地域でSARS伝播が絶たれた。

WHOは本日、台湾をSARSの地域内感染伝播確認地域から除外した。この事は、すべての既知のSARSウイルスのヒト - ヒト感染の連鎖が、今や断たれたことを意味する。



感染症の話

ハンタウイルス肺症候群 (Hantavirus pulmonary syndrome; HPS)

1993年米国南西部で、肺水腫を伴う急性の呼吸困難による死亡がナバホインディアンのあいだで複数報告された。腎症候を伴わず、急性の呼吸器症状を示し約50%が死亡したが、病因ウイルスはハンタウイルスであった。このハンタウイルス肺症候群(HPS)は、1995年から南米でも報告された。1993年から2002年6月までの米国での発生例は、累積で318例であり、31州で報告されている。また、致死率は37%である。

ハンタウイルス感染症は、ネズミを自然宿主とするハンタウイルスによる人獣共通感染症である。HPS、腎症候性出血熱(HFRS、Hemorrhagic fever with renal syndrome)ではヒトからヒトへの感染が起これないと考えられている。今のところHPSの患者発生は、南北アメリカでのみである。

我が国では、1970年代半ばから国内各地の医学系動物実験施設において、ラット取扱者の間に腎症候、出血傾向を伴う不明熱の患者が相次いで発生した。韓国高麗大学の李等が、1976年に韓国の流行地のセシアカネズミから病因ウイルスを初めて分離し、ハンタン(Hantaan)ウイルスと命名した。そして、ハンタンウイルスの仲間に起因する疾患をHFRSと統一して呼ぶこととなった。

米国においてはガイデユセック等により、ハタネズミのあいだにハンタウイルスが保有されていることが示されたが、動物学者などに抗体保有は認められたものの、ヒトに対する病原性は不明であったため、HPSの発生をみるまではあまり問題視されていなかった。

疫学

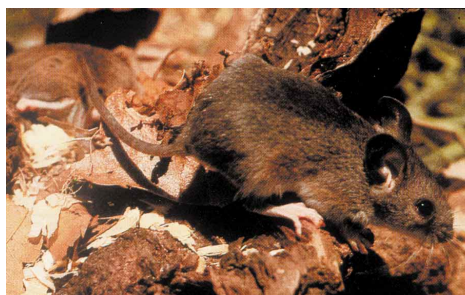
1993年、米国南西部で出現したHPSの病因ウイルスはシンンブル(Sin Nombre)ウイルスで、これを保有するネズミはシカ(ディア)マウス(*Peromyscus maniculatus*)(写真)である。このネズミは北米大陸に広く分布しているポピュラーな種で、生息数も多い。また、人家に入りやすい性質がある。他に、シロアシマウス、コットンラット等のネズミ種のあいだに保有されていることが判明した。(表)

米国のHPSは、1993年から2000年3月までの累積では238例で、平均年齢は37歳、男性が144例、183例が白人、49例がアメリカインディアンで、致死率は42%であった。回顧的調査から、少なくとも1959年にはすでに発生していたと考えられる。2002年6月までの累積では318例で、31州で報告され、致死率は37%であった。

カナダではアルバータを主として、西部で多く発生している。1994年から1999年に32例がみられ、うち12例(38%)が死亡した。平均年齢は39歳で、男性が19例(60%)であった。

1995年に、南米アルゼンチンで29例のHPSが報告された。また、1996年の春には18例の報告があった。病原性はシンンブルウイルスと同様に強く、アンデスウイルスと呼ばれる。他に、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ボリビアおよび中米パナマで報告されている。これまでに少なくともアルゼンチンで191例、ウルグアイで15例、チリで70例、パラグアイで34例、ブラジルで12例の報告がある。

HFRSや北米のHPSのハンタウイルス感染症では、ヒトからヒトへの感染が起こらないと考えられている。ところが、1996年9月の南部アルゼンチンのケースでは、住民および訪問者18例と、患者と関わったが当地を訪れていない2例のHPSが発生し、致死率は50%であった。ネズミとの接触が考えられず、ヒトからヒトへの感染が起こった例であり、ウイルス学的証拠も示され重大な問題となった。その後は終息し、再発生は起こっていないが、今後引き続き注意を要する点である。



(写真)シカ(ディア)マウス、(*Peromyscus maniculatus*) National Audubon Society, Field Guide to North American Mammals

表. 主要なハンタウイルス
分布、自然宿主(ネズミ)、ヒトの病気との関係

ウイルス	分 布	主 要 宿 主	ヒトの病気
Hantaan	アジア、極東ロシア	<i>Apodemus agrarius</i> (セスジアカネズミ)	重篤なHFRS
Seoul	世界的	<i>Rattus norvegicus</i> (ドブネズミ)	軽・中等度のHFRS
Dobrava/Belgrade	バルカン	<i>Apodemus flavicollis</i> (アカネズミ)	重篤なHFRS
Puumala	スカンジナビア、 ヨーロッパロシア、バルカン	<i>Clethrionomys glareolus</i> (ヤチネズミ)	軽症のHFRS
Prospect Hill	北米	<i>Microtus pennsylvanicus</i> (ハタネズミ)	不明
Sin Nombre	北米	<i>Peromyscus maniculatus</i> (シカマウス)	HPS
Black Creek Canal	米国南東部(フロリダ)	<i>Sigmodon hispidus</i> (コットンラット)	HPS
New York - 1	米国東部	<i>Peromyscus leucopus</i> (シロアシマウス)	HPS
El Moro Canyon	米国東部	<i>Reithrodontomys megalotis</i> (ハーベストマウス)	不明
Bayou	米国南部(ルイジアナ)	<i>Oryzomys palustris</i> (ライスラット)	HPS
Andes	アルゼンチン・チリ	<i>Oligoryzomys longicaudatus</i> (ロングテールマウス)	HPS
Laguna Negra	パラグアイ・ボリビア	<i>Calomys laucha</i> (ベスパーマウス)	HPS
Rio Mamore	ボリビア	<i>Oligoryzomys microtis</i> (ピグミーライスラット)	不明
HTN - 007	ペルー	<i>Oligoryzomys microtis</i> (ピグミーライスラット)	不明

病原体

病因ウイルスはブニヤウイルス科の5番目の新しい属であるハンタ(hanta)ウイルス属に分類されている。RNAウイルスでマイナスの1本鎖であり、3分節である。80-120nmの球形粒子でエンベロープを有する。粒子表面には、G1, G2と呼ばれる糖タンパクのスパイク構造を持つ。

ハンタウイルスはネズミ媒介性で、節足動物媒介性はないと考えられている。ネズミは不顕性感染している。ウイルスは宿主ネズミの種との関係が強く、同一種のネズミに特定の抗原性状を示すウイルスが保持されている。

ウイルスはネズミの糞、尿中に排出される。多くは、新鮮な糞または乾燥した糞、尿中からエアロゾルとしてウイルスを吸い込むことにより感染するが、ネズミの咬傷でも感染する。さらに、ネズミに触れたものを介して鼻、目または口を触れることでもおこると考えられる。

臨床症状

HPSの臨床症状は頻呼吸、頻脈、下背部疼痛、肺の両側性間質性の浸潤による呼吸困難が特徴的である。ほとんどの場合、咳や38～40度の発熱、筋痛、悪寒がみられ、嘔気、嘔吐、下痢および倦怠もよくみられる。症状は急速に進行し、呼吸困難となる。潜伏期は一般的には2週間である。

一方、HFRSでは軽度の腎症から重度の腎機能不全を示し、急性期のショック症状で死亡することも見られる。

病原診断

1) HPSウイルスに対するIgM, IgG抗体の間接蛍光抗体法、酵素抗体法による測定、2) 組織免疫化学的手法を用いて、組織中に存在するウイルス抗原の検出、3) RT-PCR法による遺伝子断片の遺伝子配列決定、などが行われる。

ネズミを捕獲し、サンプリングする場合は、エアロゾル対策を立てて実施する必要がある。病原体の取扱いは、バイオセーフティレベル(BSL) 3、または4である。診断にあたっては、ネズミとの接触があったかどうかを必ず聞く必要がある。

治療・予防

早期の集中治療が必須で、ICU搬送中に酸素分圧が低下するのを防がなければならない。酸素飽和度、体液バランス、および血圧を注意深くモニターする必要がある。

予防としては、1) ネズミの尿や糞で汚染されたほこりや食物をさける、2) 流行地でのキャンプ等のアウトドアの活動はハンタウイルスを考慮し、ネズミ対策をたてる、3) 南北アメリカ大陸の発生地域に出かける場合は、HPSについての現地の情報をチェックする、などで特にネズミとの接触について十分に注意する必要がある。

日本にはシカネズミの仲間は生息していない。ドブネズミのように海外から日本へ持ちこまれる可能性は、極めて低いと考えられる。

感染症法における取り扱い

ハンタウイルス肺症候群は4類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出
例: ウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
例: PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出
例: 免疫蛍光法やELISA法でのIgM, IgGの検出など

【参考文献】

- 1) Kruger, D. H., Ulrich, R., and Lundkvist, A. Hantavirus infections and their prevention. *Microbes and Infection*, 3: 1129-1144, 2001
- 2) Nicol, S. T., Spiropoulou, C. F., Morzunov, S, Rollin, P. E., Kaiazek, T. G., Feldmann, H., Sanchez, A., Childs, J., Zaki, S., and Peters C. J. Genetic identification of a hantavirus associated with an outbreak of acute respiratory illness. *Science*, 262: 914-917, 1993
- 3) Padula, P. J., Edelstein, A., Miguel, S. D. L., Lopez, N. M., Rossi, C. M., and Rabinovich, R. D. Hantavirus pulmonary syndrome outbreak in Argentina: Molecular evidence for person-to-person transmission of Andes virus. *Virology*, 241: 323-330, 1998
- 4) Arthur, R. R., Lofts, R. S., Gomez, J., Glass, G. E., and Childs, J. E. Grouping of Hantaviruses by small (S) genome segment polymerase chain reaction and amplification of viral RNA from wild-caught rats. *Am. J. Trop. Med. Hyg.*, 47: 210-224, 1992
- 5) <http://www.cdc.gov/ncidod/diseases/hanta/hps/>

(国立感染症研究所バイオセーフティ管理室 杉山和良)



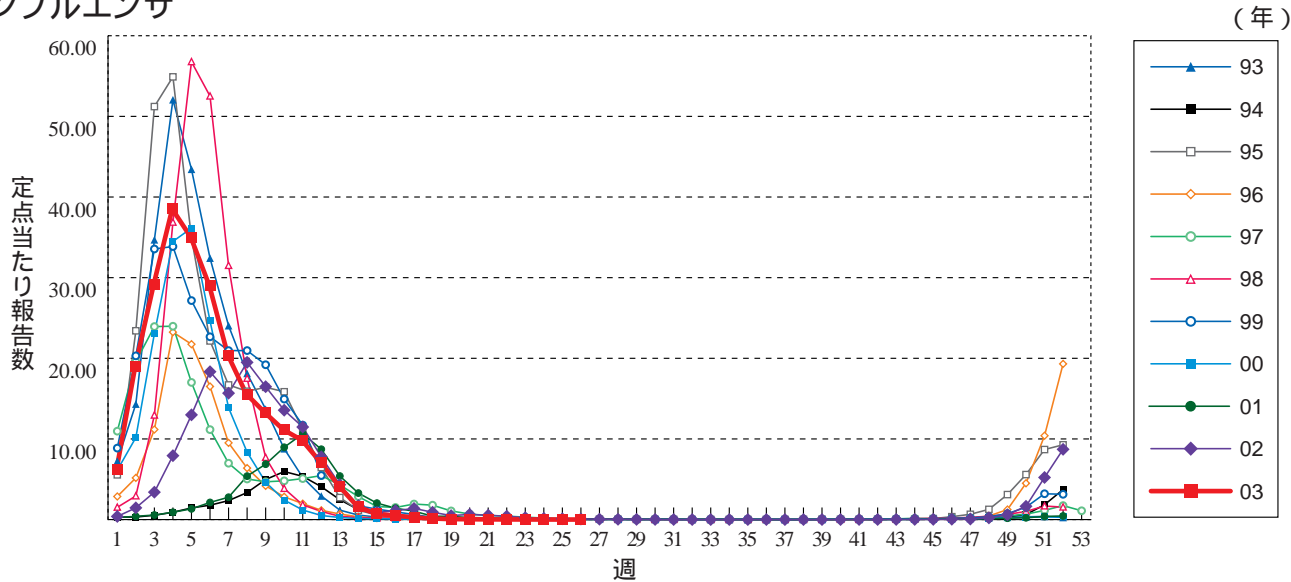
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

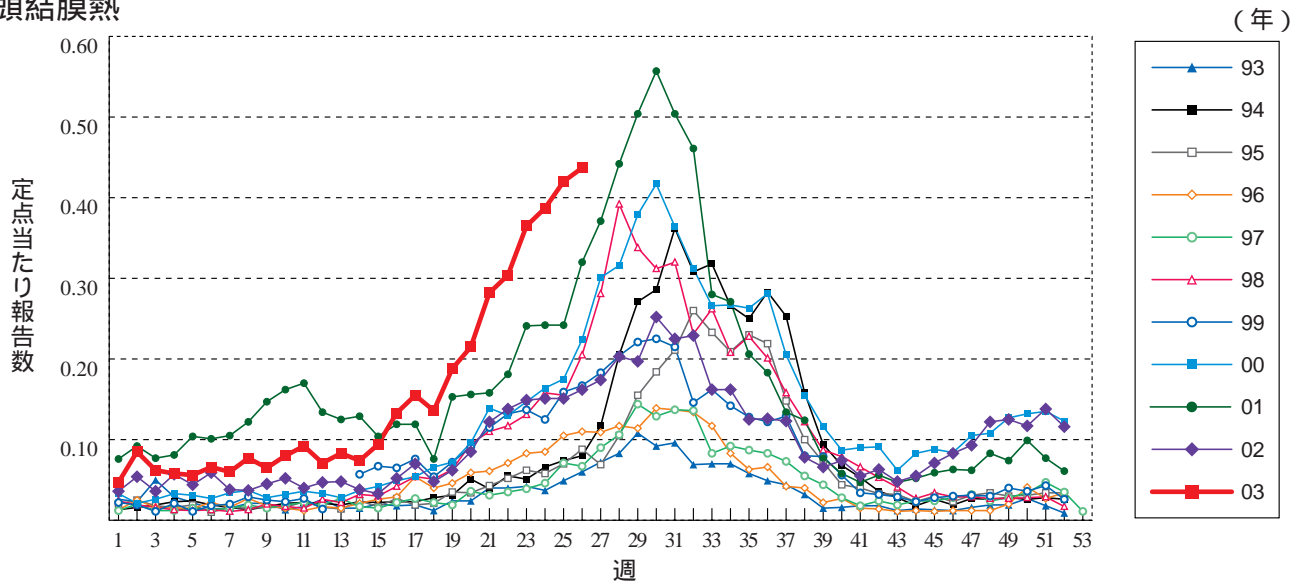
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(26週)

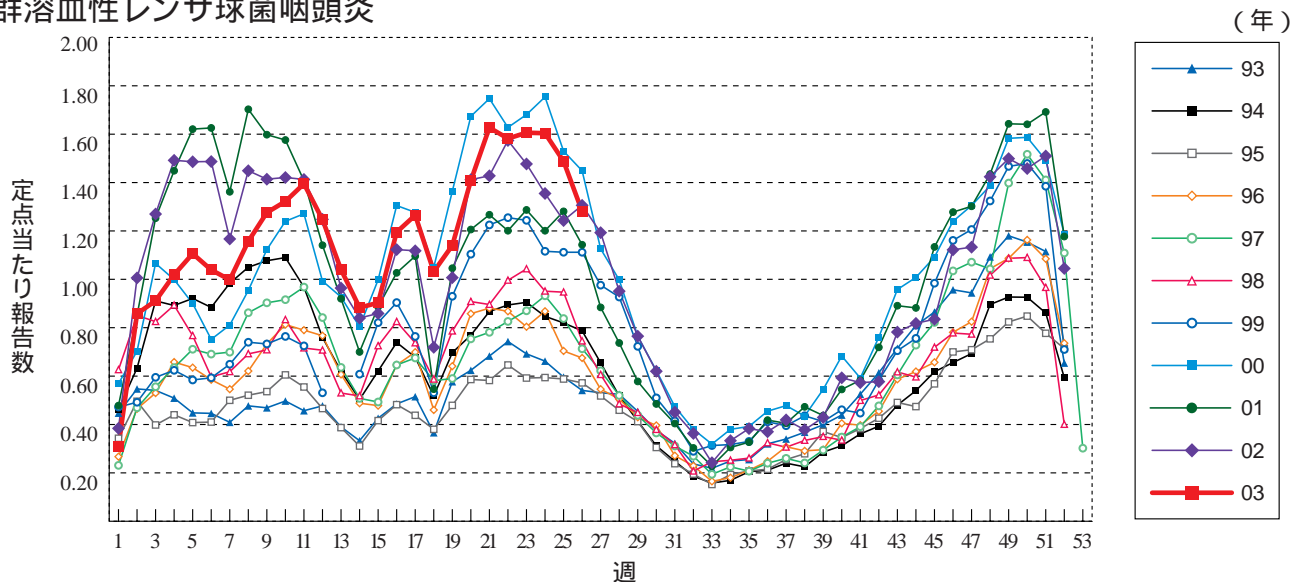
インフルエンザ



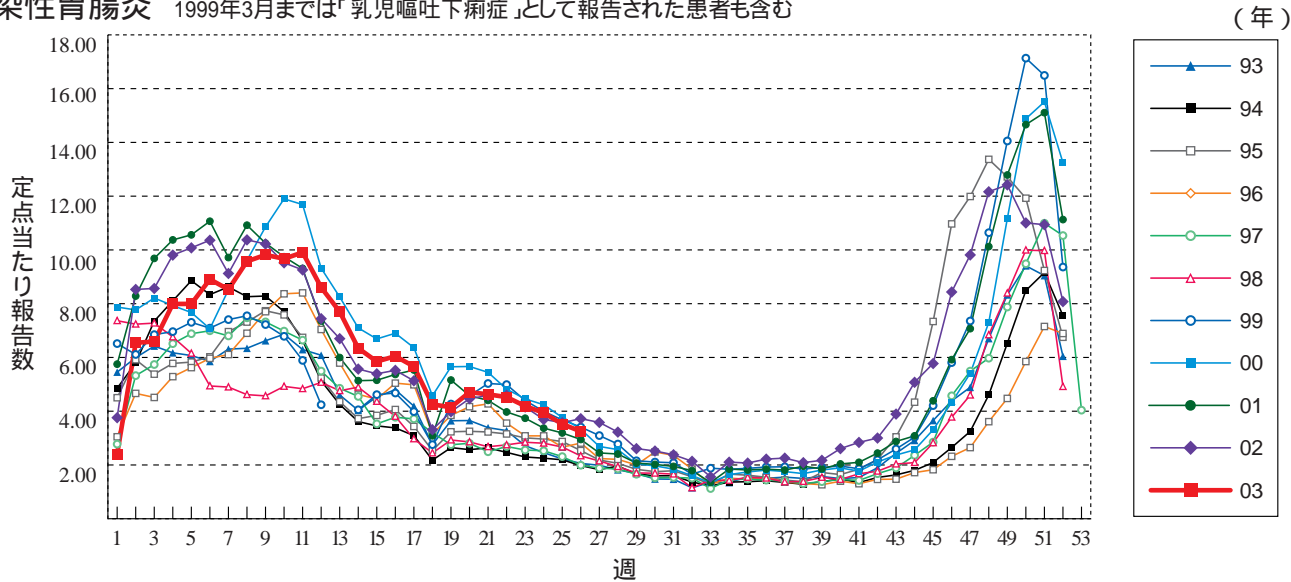
咽頭結膜熱



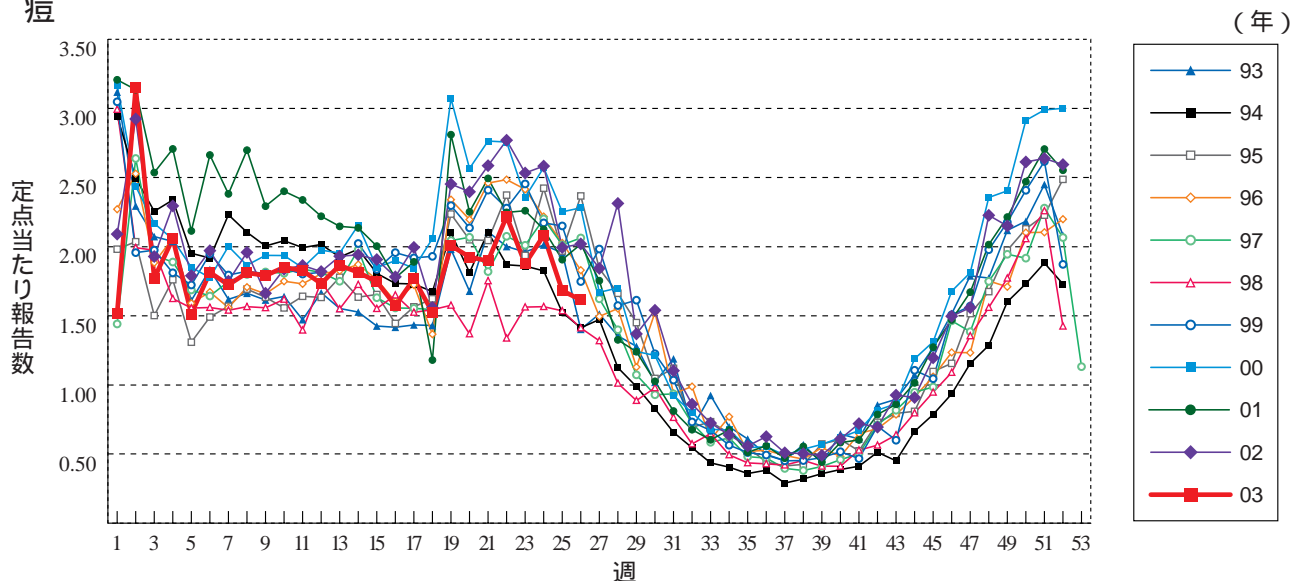
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



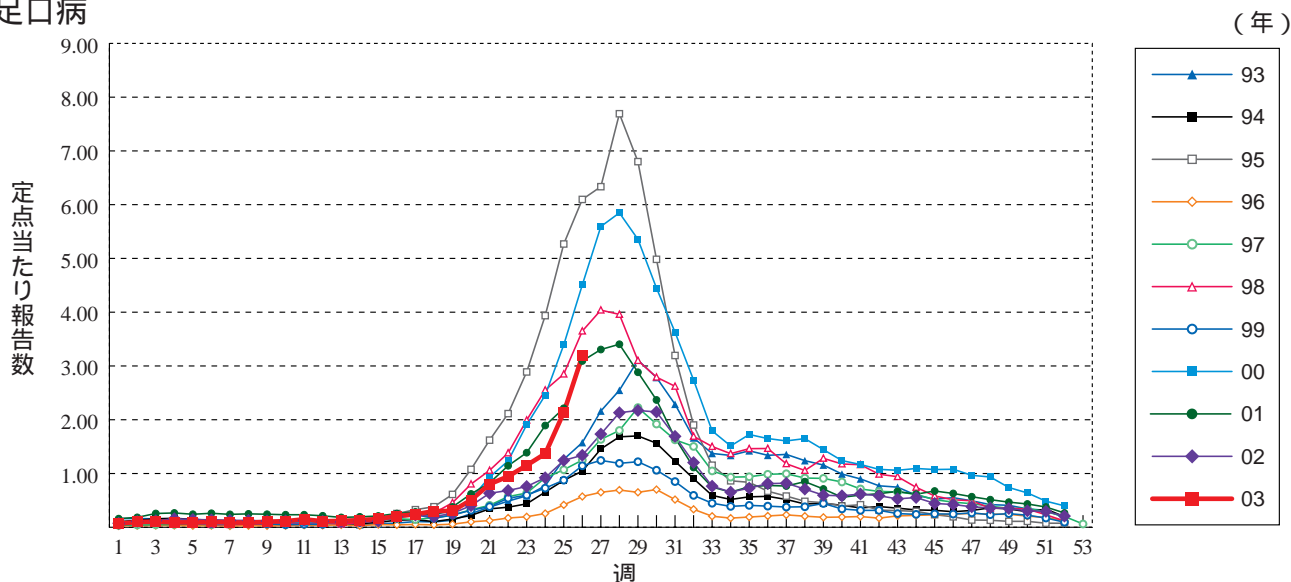
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



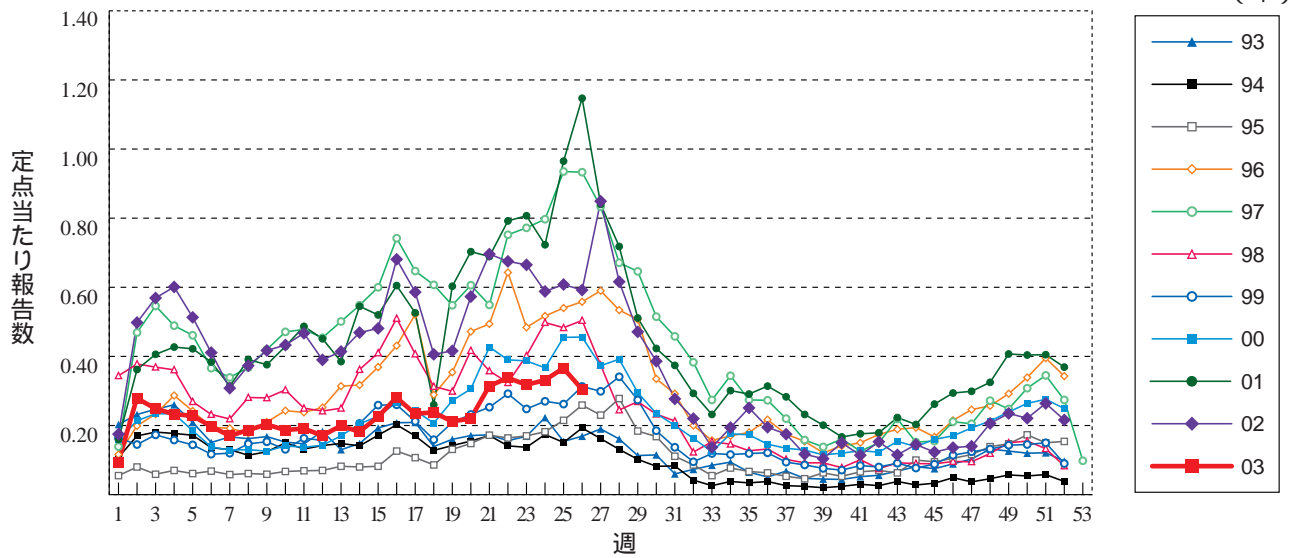
水痘



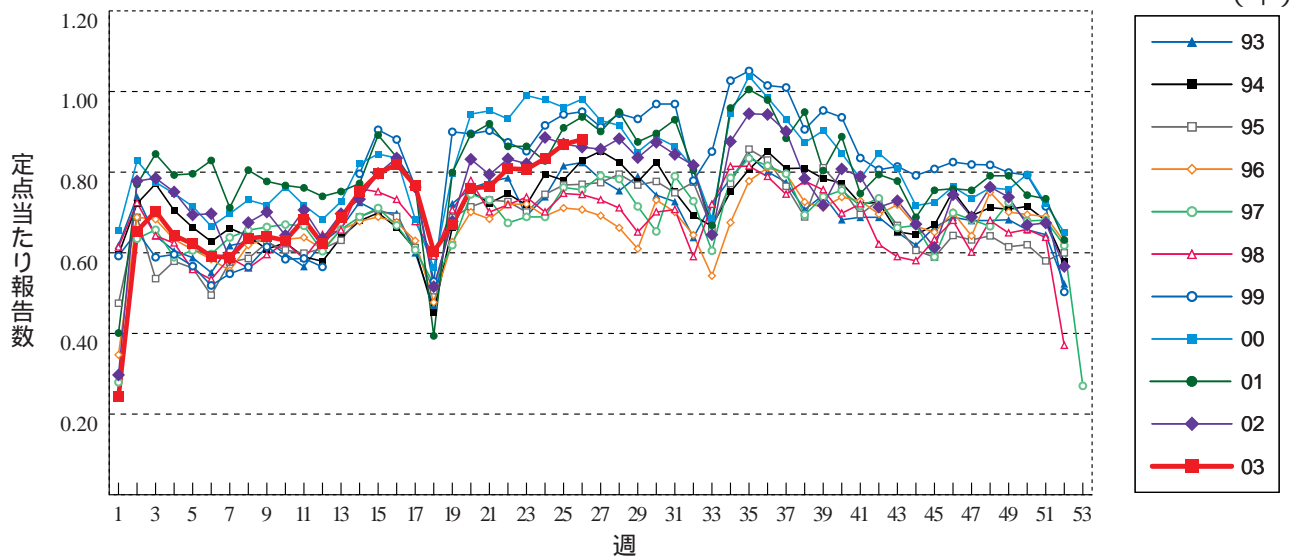
手足口病



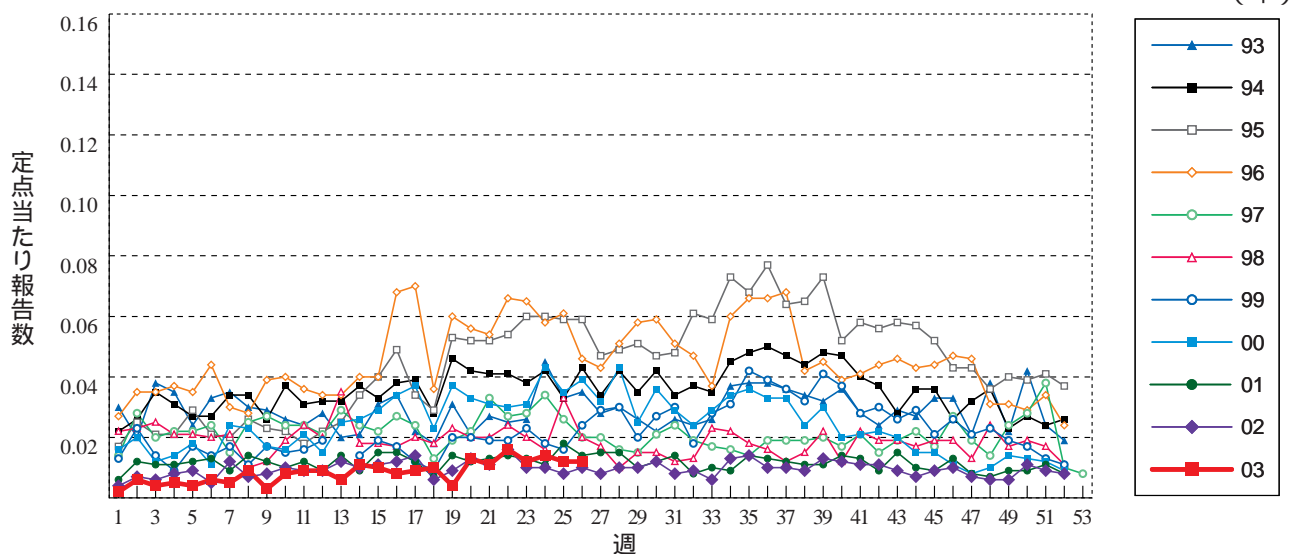
伝染性紅斑



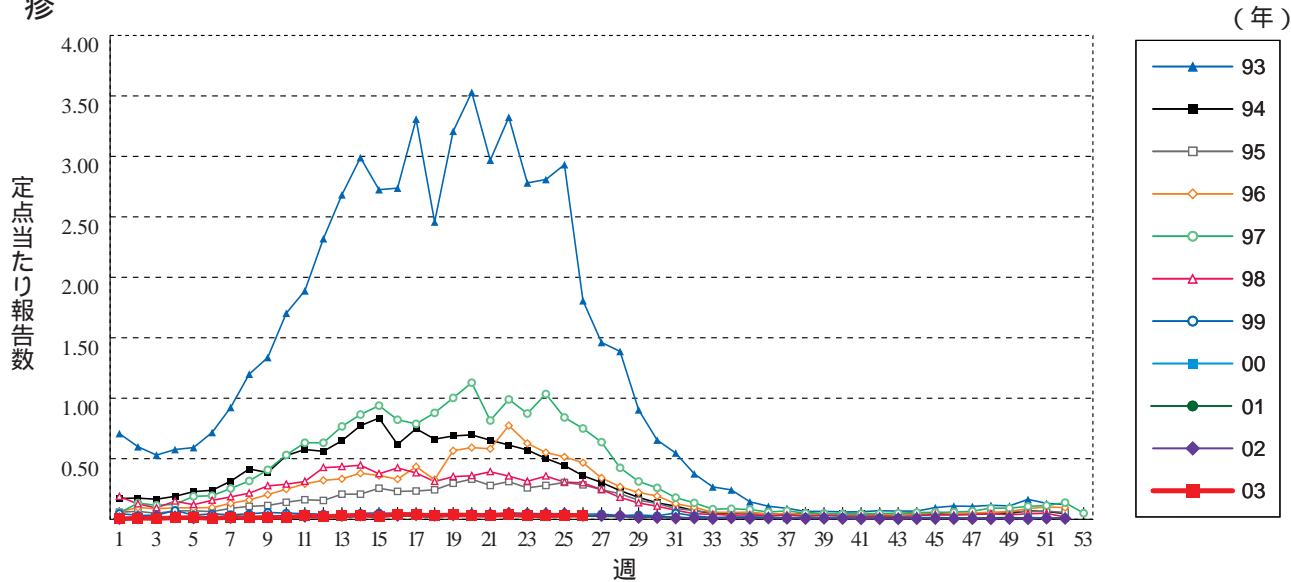
突発性発疹



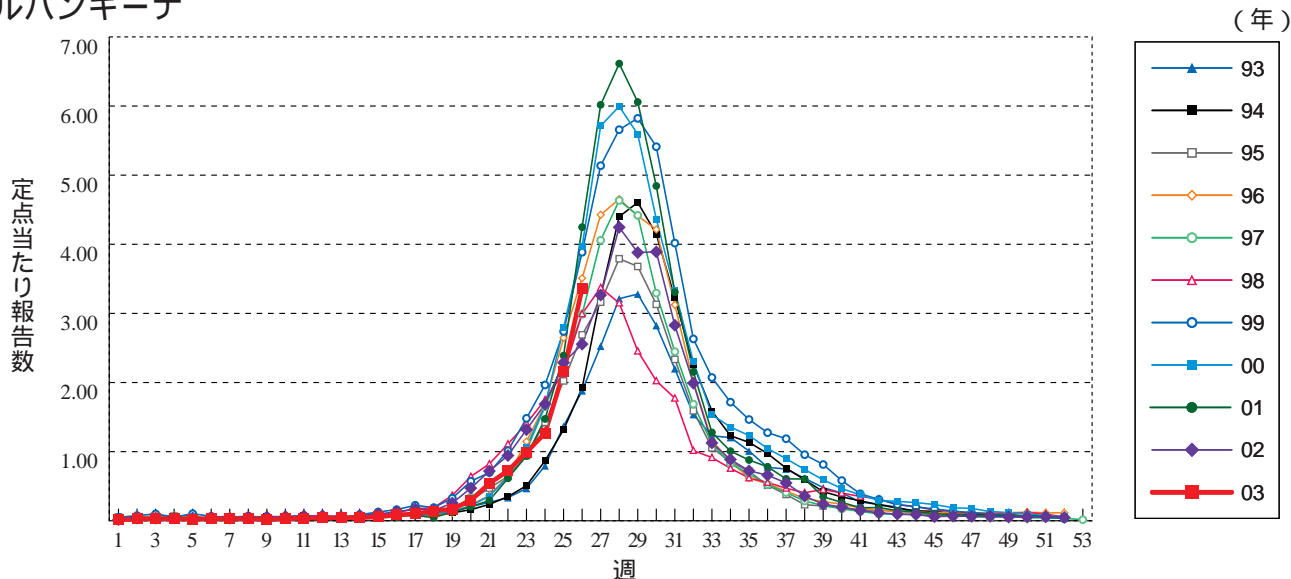
百日咳



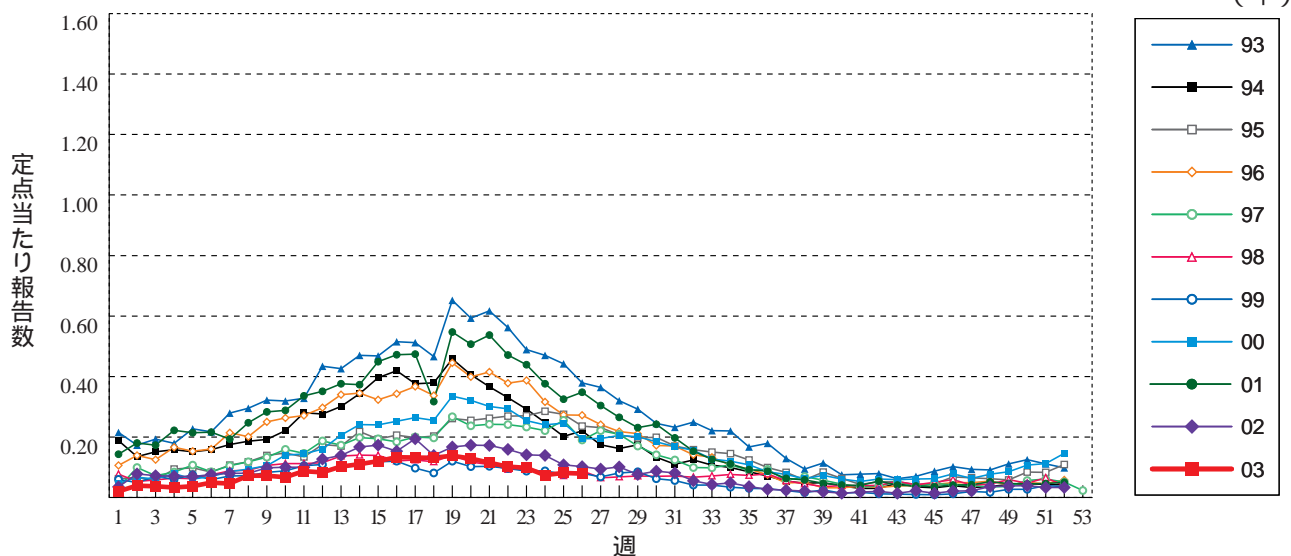
風 疹



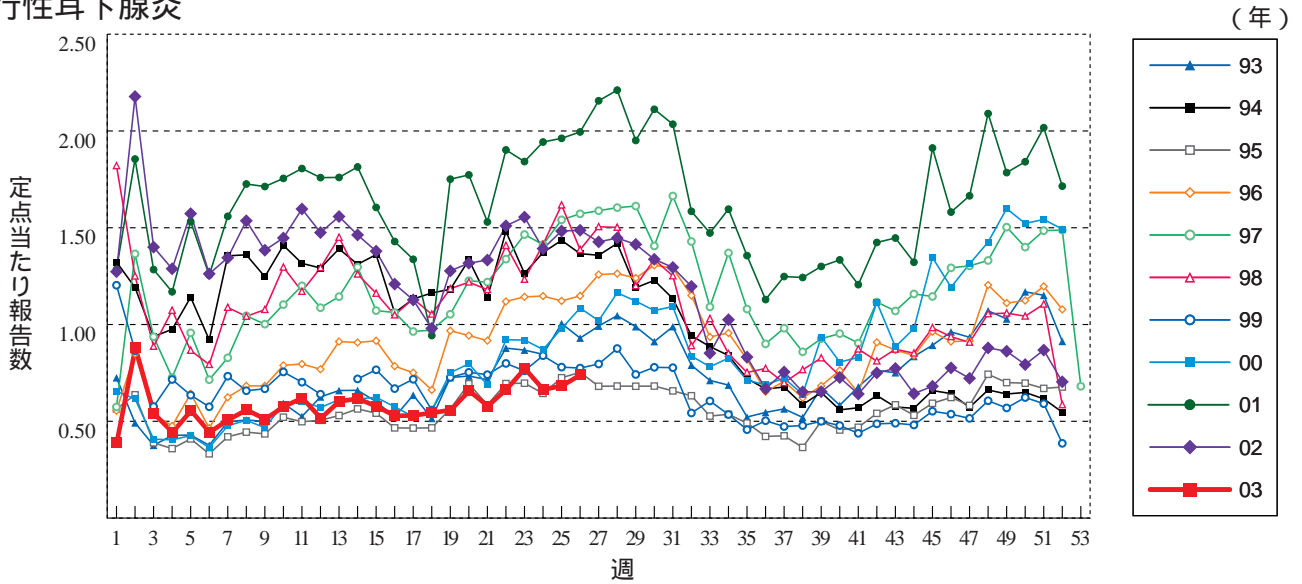
ヘルパンギーナ



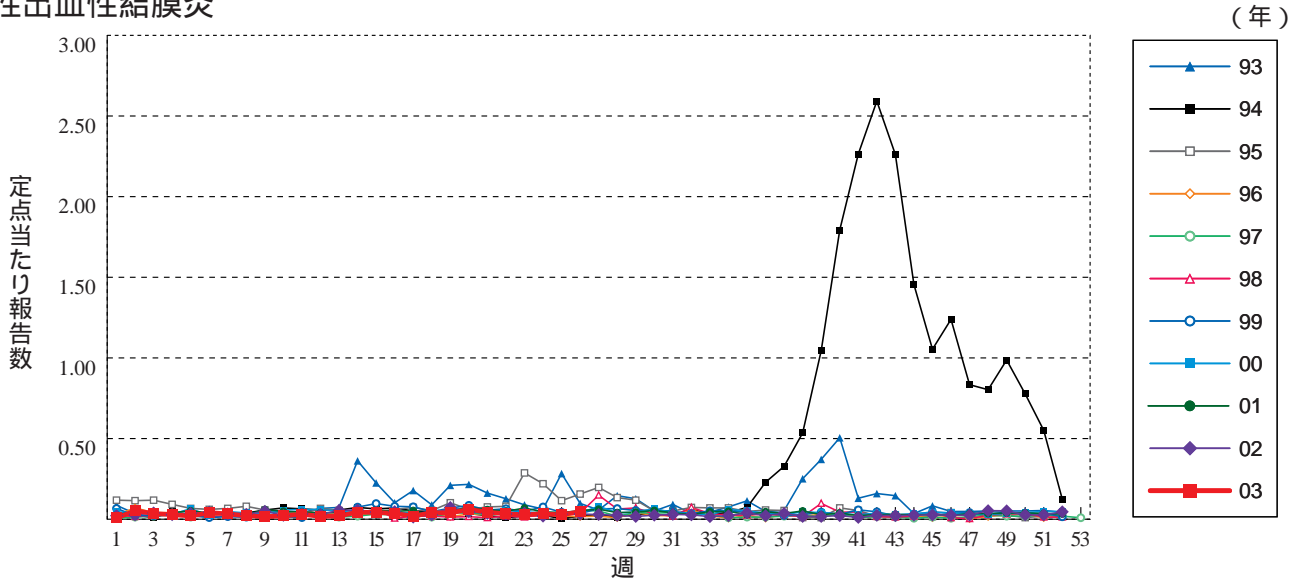
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



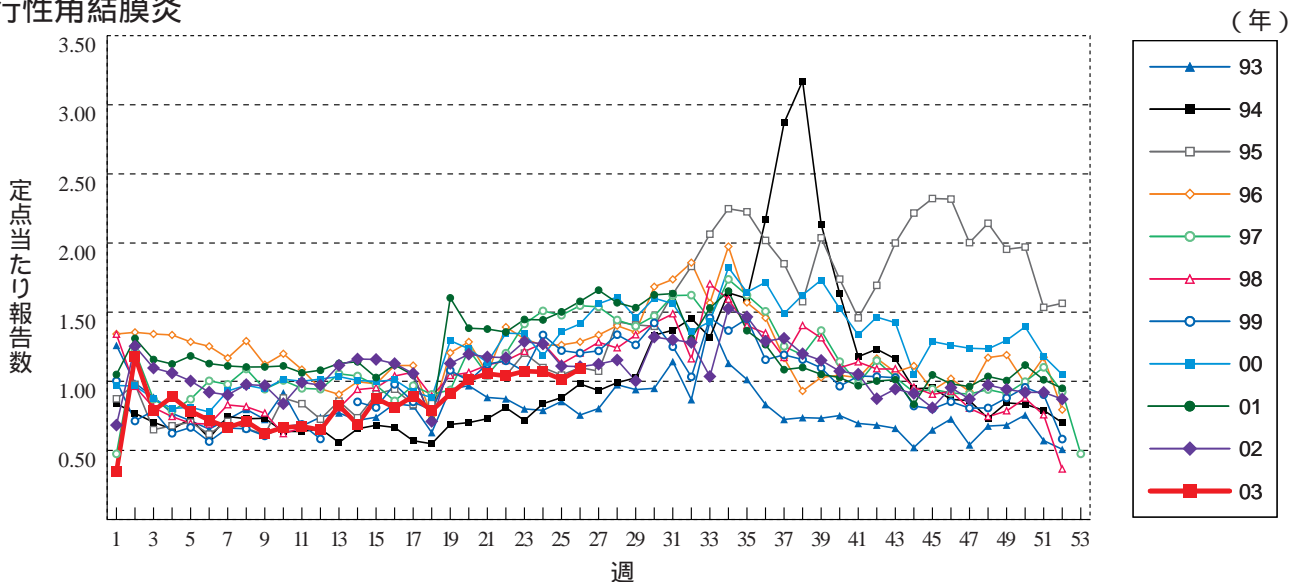
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

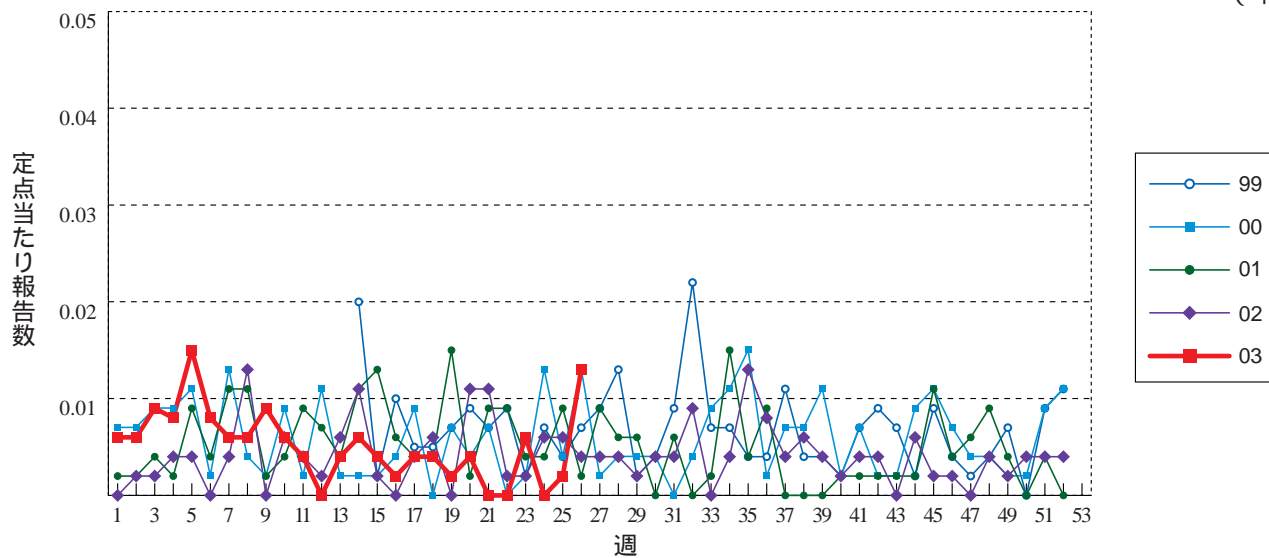


流行性角結膜炎



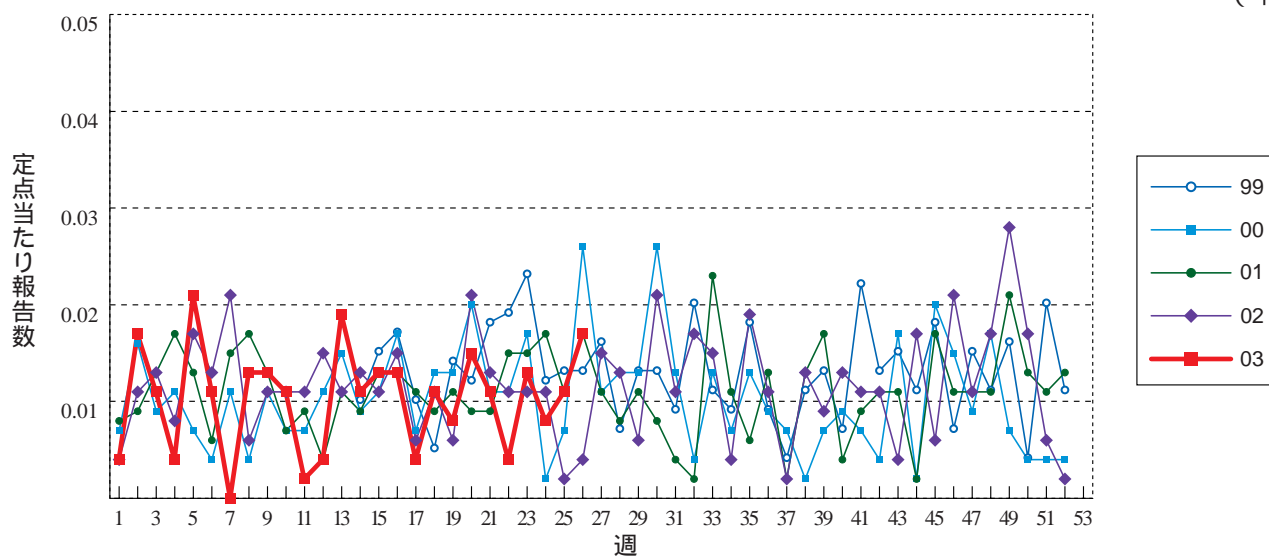
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



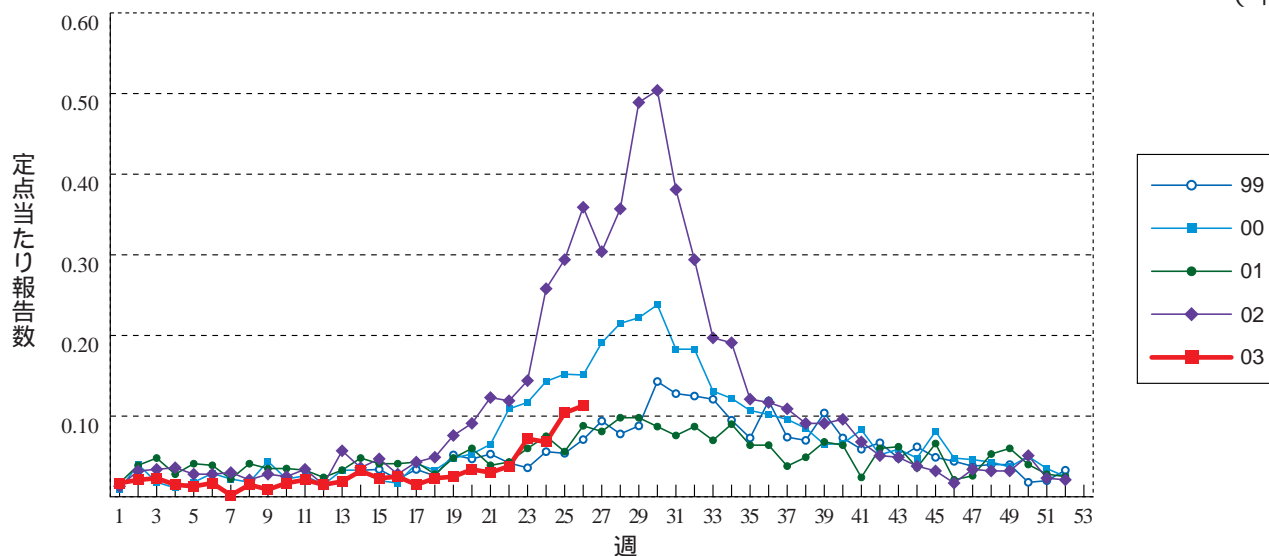
細菌性髄膜炎

(年)



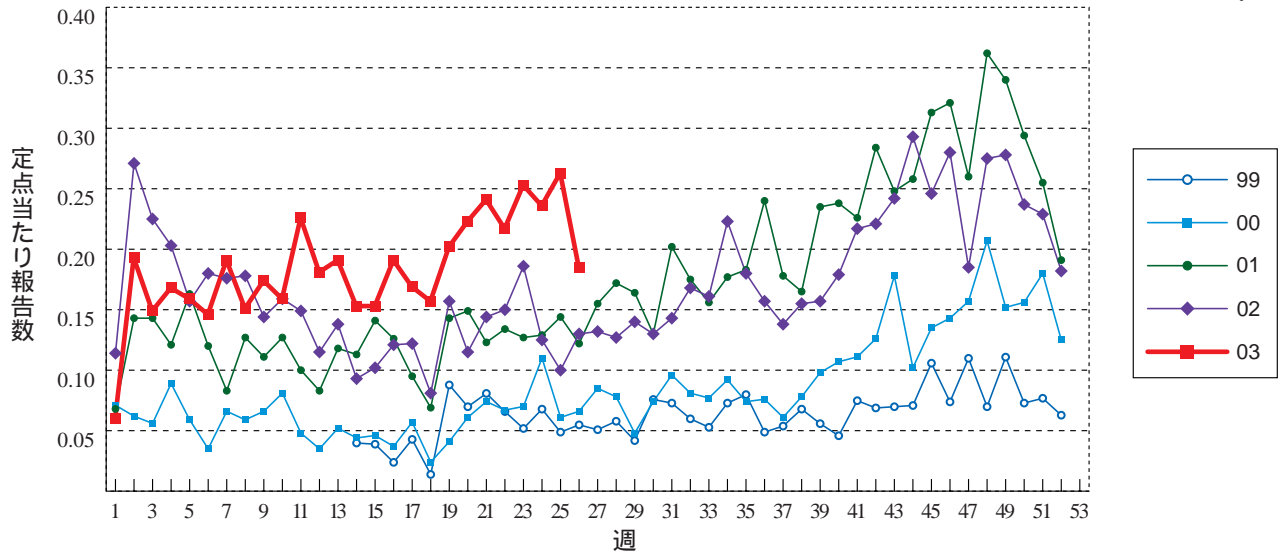
無菌性髄膜炎

(年)



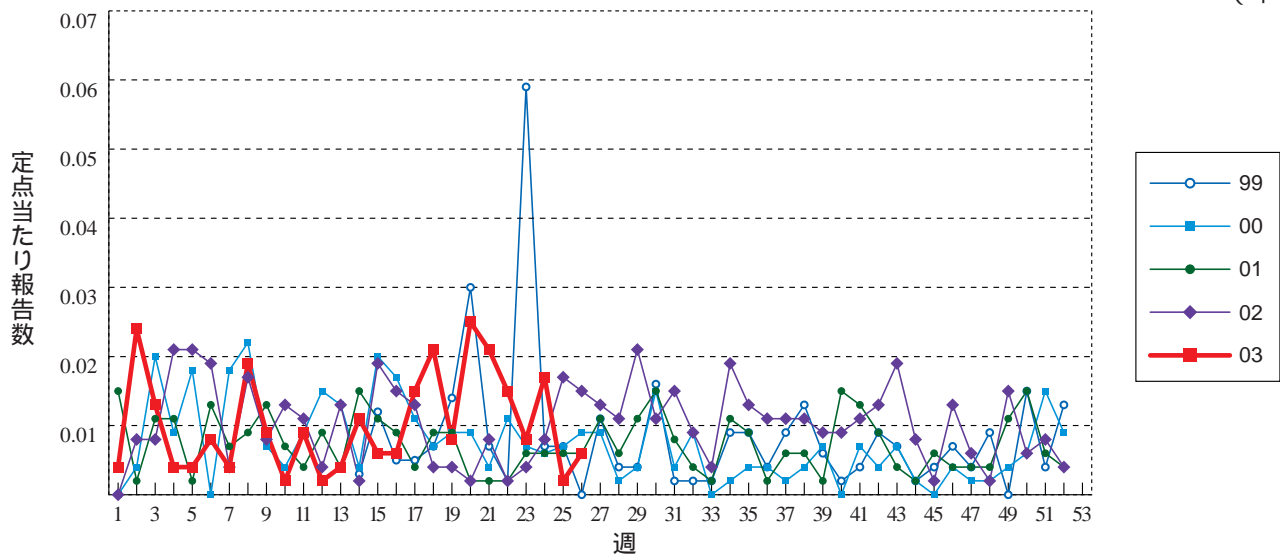
マイコプラズマ肺炎

(年)



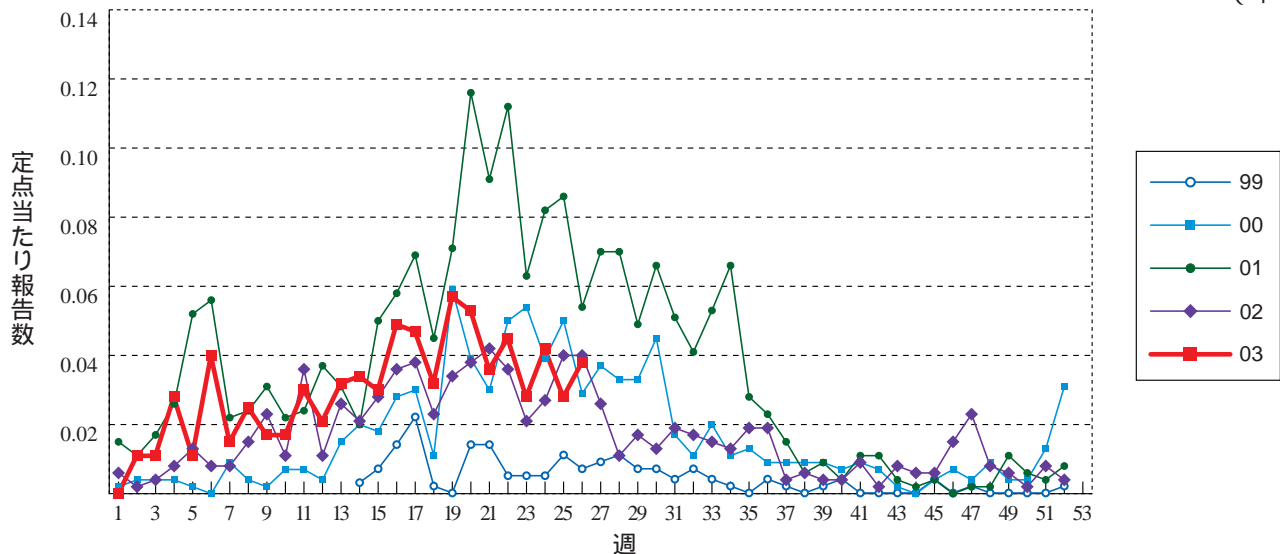
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





26週のデータ

注)表中の報告数は7月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年26週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	3	210	2	33	-	19	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	2	13	-	3	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	-	-	4	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	3	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	2	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	-	62	610	7	248	-	11	-	-	-	28	-	-	-	-	9	441
北海道	-	-	-	-	-	15	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	1	10
青森県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9
宮城県	-	-	-	-	1	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	6	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	1	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	7
群馬県	-	-	-	-	2	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	-	12	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
千葉県	-	-	-	-	-	31	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
東京都	-	-	-	-	7	54	2	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45
神奈川県	-	-	-	-	4	19	3	26	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	20
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福井県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
静岡県	-	-	-	-	2	15	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	3	26	-	24	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	16	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	5	32	-	36	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1	40
兵庫県	-	-	-	-	6	31	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	24
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	7	30	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
広島県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	19
山口県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	11
徳島県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	2	20	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
佐賀県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	3	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	1	25	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	4	-	-	1	2	-	55	1	36	4	410	-	1	-	49	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	1	1	-	5	-	3	2	145	-	-	-	22	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	34	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-	11	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	8	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	-	4	-	1	1	41	-	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	12	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	12	-	1	-	-	4	129	-	16	1	10	-	-	-	-	5	232
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	38
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	33
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	32	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38	-	2	1	56
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	7
神奈川県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	4
新潟県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年26週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	27	0.01	1331	0.44	3903	1.28	9899	3.25	4924	1.62	9724	3.19	930	0.31	2685	0.88	36	0.01
北海道	11	0.05	26	0.18	228	1.57	219	1.51	431	2.97	85	0.59	165	1.14	105	0.72	-	-
青森県	-	-	3	0.07	48	1.14	78	1.86	65	1.55	56	1.33	-	-	27	0.64	1	0.02
岩手県	-	-	-	-	18	0.47	67	1.76	66	1.74	53	1.39	3	0.08	23	0.61	-	-
宮城県	-	-	9	0.15	101	1.71	250	4.24	99	1.68	63	1.07	33	0.56	70	1.19	-	-
秋田県	-	-	10	0.29	44	1.26	124	3.54	20	0.57	7	0.20	1	0.03	14	0.40	-	-
山形県	-	-	9	0.30	71	2.37	115	3.83	43	1.43	78	2.60	4	0.13	31	1.03	1	0.03
福島県	-	-	5	0.10	44	0.92	178	3.71	97	2.02	71	1.48	5	0.10	54	1.13	-	-
茨城県	1	0.01	17	0.23	69	0.93	176	2.38	134	1.81	244	3.30	13	0.18	29	0.39	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	36	0.78	113	2.46	85	1.85	84	1.83	5	0.11	34	0.74	3	0.07
群馬県	-	-	26	0.43	79	1.30	162	2.66	111	1.82	162	2.66	23	0.38	44	0.72	-	-
埼玉県	-	-	65	0.40	362	2.25	587	3.65	269	1.67	676	4.20	41	0.25	155	0.96	3	0.02
千葉県	-	-	76	0.58	233	1.78	426	3.25	228	1.74	244	1.86	33	0.25	120	0.92	3	0.02
東京都	-	-	60	0.42	120	0.85	354	2.49	183	1.29	518	3.65	32	0.23	90	0.63	4	0.03
神奈川県	6	0.02	118	0.57	252	1.22	574	2.77	304	1.47	317	1.53	60	0.29	225	1.09	1	0.00
新潟県	-	-	16	0.27	126	2.10	181	3.02	108	1.80	179	2.98	33	0.55	56	0.93	-	-
富山県	-	-	62	2.14	79	2.72	129	4.45	37	1.28	105	3.62	13	0.45	14	0.48	-	-
石川県	-	-	17	0.59	38	1.31	110	3.79	30	1.03	22	0.76	4	0.14	32	1.10	-	-
福井県	-	-	26	1.18	28	1.27	103	4.68	28	1.27	49	2.23	4	0.18	13	0.59	-	-
山梨県	2	0.05	3	0.12	32	1.28	59	2.36	19	0.76	2	0.08	8	0.32	9	0.36	-	-
長野県	-	-	17	0.31	90	1.64	266	4.84	170	3.09	74	1.35	38	0.69	48	0.87	2	0.04
岐阜県	-	-	49	0.92	48	0.91	97	1.83	66	1.25	364	6.87	13	0.25	27	0.51	-	-
静岡県	-	-	19	0.22	97	1.13	371	4.31	150	1.74	692	8.05	72	0.84	77	0.90	-	-
愛知県	-	-	59	0.32	256	1.41	470	2.58	266	1.46	965	5.30	65	0.36	166	0.91	2	0.01
三重県	-	-	51	1.13	71	1.58	239	5.31	72	1.60	94	2.09	37	0.82	55	1.22	-	-
滋賀県	-	-	22	0.69	31	0.97	64	2.00	54	1.69	59	1.84	5	0.16	22	0.69	-	-
京都府	-	-	6	0.08	47	0.62	293	3.86	84	1.11	186	2.45	2	0.03	37	0.49	-	-
大阪府	1	0.00	78	0.40	189	0.97	700	3.59	274	1.41	616	3.16	30	0.15	155	0.79	6	0.03
兵庫県	-	-	78	0.61	128	1.00	532	4.16	215	1.68	210	1.64	35	0.27	115	0.90	-	-
奈良県	-	-	11	0.31	24	0.69	121	3.46	42	1.20	36	1.03	16	0.46	29	0.83	1	0.03
和歌山県	-	-	6	0.19	21	0.68	176	5.68	50	1.61	39	1.26	4	0.13	23	0.74	-	-
鳥取県	1	0.03	5	0.26	32	1.68	111	5.84	24	1.26	13	0.68	4	0.21	17	0.89	-	-
島根県	-	-	5	0.22	11	0.48	46	2.00	32	1.39	164	7.13	2	0.09	21	0.91	-	-
岡山県	-	-	7	0.13	33	0.61	151	2.80	47	0.87	62	1.15	3	0.06	46	0.85	-	-
広島県	-	-	22	0.29	87	1.16	259	3.45	171	2.28	1385	18.47	33	0.44	81	1.08	1	0.01
山口県	-	-	10	0.20	93	1.90	173	3.53	59	1.20	281	5.73	12	0.24	62	1.27	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	17	0.74	62	2.70	35	1.52	11	0.48	5	0.22	15	0.65	-	-
香川県	-	-	17	0.53	31	0.97	107	3.34	26	0.81	145	4.53	-	-	26	0.81	-	-
愛媛県	-	-	14	0.36	38	0.97	211	5.41	61	1.56	131	3.36	3	0.08	45	1.15	-	-
高知県	-	-	1	0.03	22	0.71	55	1.77	48	1.55	33	1.06	6	0.19	28	0.90	1	0.03
福岡県	-	-	126	1.05	149	1.24	447	3.73	222	1.85	622	5.18	15	0.13	133	1.11	2	0.02
佐賀県	-	-	12	0.52	31	1.35	42	1.83	32	1.39	70	3.04	1	0.04	35	1.52	-	-
長崎県	-	-	12	0.27	23	0.52	86	1.95	30	0.68	81	1.84	2	0.05	37	0.84	1	0.02
熊本県	-	-	13	0.27	68	1.39	222	4.53	93	1.90	36	0.73	1	0.02	69	1.41	1	0.02
大分県	-	-	85	2.36	46	1.28	145	4.03	51	1.42	88	2.44	6	0.17	47	1.31	2	0.06
宮崎県	-	-	8	0.22	153	4.14	203	5.49	98	2.65	181	4.89	17	0.46	53	1.43	1	0.03
鹿児島県	4	0.04	42	0.72	53	0.91	208	3.59	59	1.02	54	0.93	1	0.02	41	0.71	-	-
沖縄県	1	0.02	-	-	6	0.18	37	1.09	36	1.06	17	0.50	22	0.65	30	0.88	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年26週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	105	0.03	10241	3.36	240	0.08	2256	0.74	30	0.05	691	1.09	6	0.01	8	0.02	53	0.11
北海道	8	0.06	106	0.73	9	0.06	147	1.01	-	-	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	25	0.60	2	0.05	41	0.98	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	18	0.47	6	0.16	34	0.89	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	284	4.81	14	0.24	76	1.29	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	102	2.91	-	-	17	0.49	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	134	4.47	-	-	13	0.43	-	-	11	1.38	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	182	3.79	20	0.42	48	1.00	-	-	15	1.25	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	273	3.69	4	0.05	59	0.80	-	-	32	2.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	32	0.70	13	0.28	26	0.57	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
群馬県	4	0.07	402	6.59	9	0.15	117	1.92	-	-	15	1.07	-	-	-	-	-	-
埼玉県	9	0.06	507	3.15	20	0.12	109	0.68	-	-	15	0.42	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	19	0.15	386	2.95	6	0.05	61	0.47	1	0.03	46	1.39	-	-	-	-	1	0.08
東京都	3	0.02	279	1.96	17	0.12	41	0.29	-	-	26	1.86	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	6	0.03	347	1.68	16	0.08	122	0.59	1	0.02	80	1.90	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	-	-	20	0.33	2	0.03	53	0.88	-	-	-	-	-	-	2	0.17	3	0.25
富山県	-	-	95	3.28	1	0.03	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	78	2.69	1	0.03	15	0.52	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.09	69	3.14	1	0.05	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	10	0.40	-	-	5	0.20	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	72	1.31	3	0.05	20	0.36	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	75	1.42	-	-	19	0.36	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	355	4.13	3	0.03	105	1.22	-	-	16	0.80	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.01	639	3.51	5	0.03	120	0.66	-	-	28	0.80	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	394	8.76	-	-	15	0.33	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.09	185	5.78	1	0.03	26	0.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	3	0.04	214	2.82	2	0.03	36	0.47	1	0.06	28	1.56	-	-	-	-	2	0.40
大阪府	5	0.03	1372	7.04	18	0.09	75	0.38	1	0.02	40	0.82	-	-	-	-	4	0.27
兵庫県	4	0.03	737	5.76	14	0.11	279	2.18	1	0.03	43	1.23	-	-	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	230	6.57	3	0.09	27	0.77	-	-	14	1.56	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	234	7.55	7	0.23	17	0.55	-	-	3	0.75	-	-	5	0.45	7	0.64
鳥取県	-	-	166	8.74	-	-	17	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	108	4.70	-	-	4	0.17	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	26	0.48	136	2.52	3	0.06	46	0.85	-	-	28	2.33	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	140	1.87	-	-	46	0.61	-	-	25	1.25	4	0.19	-	-	14	0.67
山口県	4	0.08	432	8.82	4	0.08	74	1.51	1	0.11	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	46	2.00	1	0.04	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	94	2.94	-	-	11	0.34	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	79	2.03	1	0.03	13	0.33	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	30	0.97	-	-	63	2.03	-	-	9	3.00	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	-	-	337	2.81	15	0.13	60	0.50	1	0.04	43	1.65	-	-	-	-	4	0.27
佐賀県	-	-	26	1.13	-	-	12	0.52	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	24	0.55	-	-	18	0.41	7	0.88	9	1.13	-	-	-	-	1	0.09
熊本県	-	-	282	5.76	-	-	12	0.24	-	-	15	1.67	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	198	5.50	4	0.11	9	0.25	-	-	5	1.00	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	218	5.89	7	0.19	32	0.86	16	4.00	10	2.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	57	0.98	6	0.10	97	1.67	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	12	0.35	2	0.06	5	0.15	-	-	7	0.70	1	0.14	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年26週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	87	0.18	3	0.01	18	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	14	0.70	-	-	-	-
宮城県	10	0.83	-	-	-	-
秋田県	1	0.14	-	-	-	-
山形県	7	0.70	-	-	2	0.20
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	2	0.20	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	-	-	3	0.23	2	0.15
東京都	-	-	-	-	8	0.32
神奈川県	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	3	0.25	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	4	0.36	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.30	-	-	-	-
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.40	-	-	-	-
兵庫県	2	0.17	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	5	1.00	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	4	0.44	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	2	0.18	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第26号 平成15年7月11日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。